

「第 30 回林間学校 ^{いりのまつばら}入野松原体験植樹」に参加しました

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター 高知水源林整備事務所

高知水源林整備事務所は、平成 31 年 2 月 15 日(金)に高知県幡多郡黒潮町^{はたぐんくろしおちょう}で開催された「第 30 回林間学校 入野松原体験植樹」に参加しました。

この取組みは、森林への理解を深めてもらうことを目的として、黒潮町を管轄している幡東森林組合^{ばんとう}が地元の小学生を対象に毎年行っているもので、今年で 30 回目の開催となりました。従来は、黒潮町内の当センター水源林造成事業地にて植樹及び育樹を行っていましたが、今年は天皇陛下御在位 30 年を記念し、入野松原での植樹となりました。

会場となった入野松原は、黒潮町の土佐湾沿岸に位置する延長 4km の松原で、防風保安林に指定されています。自然散策やウォーキングコースとしても利用されており、近隣の皆様からも身近な森林として親しまれています。

当日は、四万十森林管理署、黒潮町、黒潮町教育委員会とともに小学生 22 名が参加し、高知水源林育成士会による森林の働きについての紙芝居が披露された後に体験植樹を行いました。

最初は大きなスコップに悪戦苦闘しながら穴を掘り、クロマツを植えていた子供達でしたが、コツを掴むのも早く、最後の方には大人の補助もいらなくらいに手際よく植樹作業を行っていました。

作業終了後の閉会式では、生徒代表から「10 年後、20 年後に自分の植えたクロマツを見に来ます」との言葉があり、参加者にとっても森林とのつながりを持つ良いきっかけになったように見受けられました。

高知水源林整備事務所では、今後も積極的にイベントに参加して地域の方々との交流を深め、森林・林業の大切さや水源林造成事業の P R に取り組んでまいります。



センター職員挨拶



森林の働きについての紙芝居



記念植樹



体験植樹